



# あかしや通信

平成26年9月29日

京都市立朱雀第四小学校  
校長 佐伯 卓也  
10月臨時号

夏休み前に、日頃の児童の様子や家庭での教育についてアンケートを実施し、262名の保護者より回答をいただきました。アンケートのご協力ありがとうございました。また、児童・教職員も対象にアンケートを行いました。結果をお伝えするとともに、結果から見えてくる課題を明らかにし、今後の学校の取組にかاشていきたいと考えています。

## 学校アンケート（7月末）結果より



## 児童のアンケートから

児童のアンケートについては、学級のことや毎日の生活のことについてアンケートを実施しました。学級についての項目でスコアが良かったものは、

- ・クラスの安らぎ…けんか・いじめ・仲間はずれなどがない、逆らえないという人がいない、など
- ・友だちとのつながり…クラスの友だちといると楽しい、友だちがたくさんいる、休み時間が楽しい、など

でした。学級で子どもたちが落ち着いて過ごせる雰囲気があり、友人関係もおおむね良いのではないかと思います。しかし、子ども一人一人のアンケート結果を見ると「クラスのけじめ」や「友だちとのつながり」などでスコアが下がっている場合があります。子どもたちの様子を学習や遊びを通して深く理解し、より良い学級づくりを進めていきたいと思ひます。

毎日の生活についての項目でスコアが良かったものは、

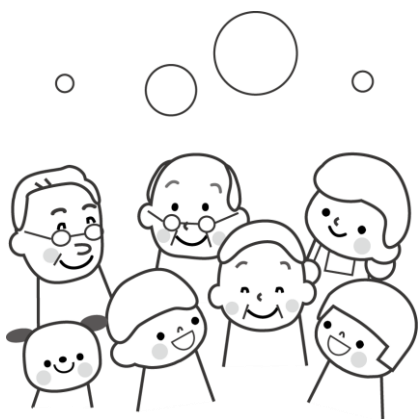
- ・学習の楽しさ …授業は楽しい、勉強は自分のためになると思ひ、など
- ・家庭の雰囲気 …家の人といっしょにいるとほっとする、家の人といろいろな話をする、など

でした。子どもたちが家でも学校でも楽しく安心して過ごしている様子が見られました。しかし、高学年になるにつれてスコアが下がる傾向が見られた項目が、「学習の楽しさ」でした。また、全体的にスコアに減少が見られたものが、

少が見られたものが、

- ・将来展望 …あこがれている職業がある、将来の夢をもっている

です。「将来展望」のスコアが高い子どもには、「学習の楽しさ」や「クラスの友人関係」などのスコアも高い傾向が見られました。具体的な将来を思い描かせることで、勉強が将来の夢につながるということを意識しながら授業や学級づくりをさらに工夫したいと思ひます。家庭でもぜひ、将来の夢について語り合う機会をつくっていただけたらと思ひます。



## 保護者アンケートから

よく出来ている ↑実現度↓			学校生活の悩みなどが 見られない 将来の夢や希望につい て家族と話すこと 学校・学年だよりやメー ル配信、ホームページ などで様子を伝える	自分からあいさつする 習慣 毎日、楽しく学校に通う  学習内容が分かり、基 礎的な力がついている  家庭学習の習慣 子どもの努力をほめる 「早寝・早起き・朝ごはん」に気をつけた生活 学校のきまりや家での 約束などを守る 担任との連携(相談で きる関係)をとる
出来ていない			読書の習慣 相手や状況に応じた望 ましい言葉遣いで話す テレビやゲームに関し て、家での約束を守る 学校行事やPTA活動に できるだけ参加する	
重要ではない		←重要度→		重要である

左の表は質問の項目を重要度と実現度で分布したものです。すべての項目を多くの方が「重要である」と考えているという回答をいただきました。昨年の結果と比較すると、「自分からあいさつする習慣」に増加傾向が見られ、うれしく思います。しかし「読書の習慣」や「担任との連携（相談できる関係）」に減少が見られました。また、今年度から新しく質問項目に加えた「相手や状況に応じた望ましい言葉遣い」の回答については、やや低い傾向が見られました。大人の言動を見て・聞いて子どもは学んでいますので、家庭と学校で連携しながら、あたたかい言葉の環境をつくりたいと考えています。

## 保護者・教員アンケートの比較

家庭学習については、教員は「よく出来ている」の回答が少なく、学年発達に応じた時間（低学年15～30分、中学年45～60分、高学年75～90分）と内容で毎日続けることを願っています。

読書については、家庭での読書習慣をつけるのが難しいように見られました。家庭で読書の時間をとるのが難しい様子も見られますので、自主的に取り組めるよう、家庭との連携を深めながら、子どもへの働きかけをしたいと考えています。

今年度から始めた全学年での群読の効果が、あいさつであらわれています。群読をきっかけに、本に親しみ、また、情報を集め、選び、活用する力にもつなげられるような工夫をしたいと考えています。

